

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年3月1日

アンケート期間:令和4年11月10日~令和4年12月1日

中野区放課後デイサービスセンターみずいろ

保護者等数(児童数) 52 回収数 35 割合 67%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	2		・活動スペースについては十分に確保されていると思います ・子どもの遊んでいるところを見た事が無いのでわかりません ・十分な広さです ・他の事業所より広いスペースだと思います	広いスペースがみずいろの売りでもあります。いつものびやかに過ごして頂きたいです
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	11		・適切だと思います ・こちらもどのように職員の方がどのような距離感でいるのか見たことが無い為わかりません ・他のデイサービスはST,OT等の専門職の方が在籍し、活動中に指導しています。南地区のゆめなりあと同様に看護師の在籍があっても良いのかなと思いました ・良く見ていただいています ・適正とは思う反面、不足の事態に対応する余裕な人員が居るのかわかりません。あるなら良いかとおもうのですが・・・ ・はい。面談の時にいつもかんじています	基本的な人員配置はもちろんのことですが、緊急時にそなえ余裕のある人員配置を頃けます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	35			・適切だと思います ・ほぼバリアフリーだと思います	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	32	3		・面談や日々のヒヤリングで問題点や要望など含めた計画を作成していただいています ・面談上十分なニーズは反映されえいると思います	作成時に保護者の思いも反映していきます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	32	3		・子ども達が楽しみながら自立できるよう工夫がなされています ・今はまだ感染対策の為無理かとは思いますが、長期休暇等、朝から利用の日にコロナ以前のような調理活動が再開されることを願います	新に学年別でグループを分けてそれぞれ担当職員が特性に合わせたプログラムを計画するようにしています

	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	23	7	<ul style="list-style-type: none"> ・息子の通所日にはないです。 ・曜日が合えば機会があります ・コロナ禍なので今年は交流がなのだと思います ・状況が良くなったら再開して欲しいです 	コロナが落ち着いたら実施しようと考えています
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回丁寧なご説明を頂きます 	継続して行っています。支援内容についての問合せ等はいつでもご連絡ください
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	32	3		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳で細かい情報まで伝えて頂助かります ・面談を通して共通理解ができていますと思います ・お迎えの際に今日の様子など教えてくださるのが楽しみです。いつもありがとうございます。 	日々の連絡帳以外でも個別面談やアンケート調査をおこない支援課題を共通理解のもと行っています
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	1		<ul style="list-style-type: none"> ・一人帰りの練習に積極的にご協力や助言をいただき心強いです 	相談のアンケートを取りそれぞれ個別相談や勉強会などそれぞれのニーズに合わせた支援を行っていく予定です
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	21	13	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことなくすみません ・保護者会や父母参加の活動など連携の機会があります 	保護者会以外にも懇親会や見学会などの開催を増やしていこうと思います
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	8		<ul style="list-style-type: none"> ・そういう状況がありません ・遊びの中でできた小さな傷にも丁寧なご説明があり安心します ・個人的に苦情が無いのでわかりません 	苦情対応マニュアルがあることのお知らせを強化します
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	3		<ul style="list-style-type: none"> ・帰りの送迎の際に施設での出来事を伝達くださり安心します 	必要であれば電話やメールまた個別面談なども活用して情報共有を密に心掛ける。また来所できない方へはオンラインの相談も行います
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	3		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動の様子や写真など会報やHPで発信していただいています ・たよりの送付があり大変助かります 	新にInstagramを開設し情報発信を行っていきます
	14	個人情報に十分注意しているか	35			<ul style="list-style-type: none"> ・事前に会報やHPなど開示確認があり十分に注意されていると思います ・ホームページやたよりの掲載など保護者への確認が十分なされていると思います 	引きつづき徹底していきます

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	5		非常時のマニュアルを配布頂説明も受けています	契約時にしか説明していなかったため、再度保護者会等で周知・説明を行います
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	1		・定期的に訓練は行われています ・十分な訓練が行われていると思います	継続して行っています
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	34	1		・学校よりも楽しみにしています ・週1の利用でいいからのもっと行きたいと思っ て欲しいのですがなかなか自分のリズムを崩したくないようです ・とても楽しみにしています ・通所をとても楽しみにしており、言葉で伝えてくることや家での過ごし方にも変化が見られるようになりました。本人の言葉と連絡帳の内容が同じだととても嬉しく思います。先生方が娘にとって過ごしやすい環境や適切な支援をしてくださっているおかげだと思います ・いつも大変楽しみにしています	今後も楽しんでいただけるようなプログラムを提供したいと思います
	18	事業所の支援に満足しているか	33	1	1	・保護者の話を聴いて都度真摯に対応していただき満足しています。 ・提出分の期限が短いと思うのでもう少し余裕が欲しいです ・以前と体制が大きく変わり何となく違和感を感じています ・いつもありがとうございます ・とても満足しています。しかし、利用日が増加させていただけなのが残念です	書類の提出期限ですが、できるだけ期限内に提出していただくと助かりますが、期限を過ぎても対応はさせていただきますので、お忙しいとは存じますが提出は必ずお願いいたします また利用日については可能な限り調整させていただきます

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年1月13日

公表:令和5年3月1日

中野区放課後デイサービスセンターみずいろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	5		適切である	面積における利用定員の基準の理解が不足している状況なので説明をする
	2	職員の配置数は適切である	3	8	2	人員配置基準はみたしている	職員の採用を計画的に実施。人員不足にならない工夫をする
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12		1	手すりや多目的トイレも設置されている。また床の配線なども無いように工夫している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	7		職員会議や毎週の事業会議等で定期的話し合い共有している	非常勤への伝達がうまくいっていないので会議への参加を促す
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12		1	改善すべき課題を取り上げ職員で協議し改善に務めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	6		ホームページに掲載	職員への周知を強化
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	3	1	3年に1度第三者評価を受けて報告している。	職員への周知を強化
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	3		ウェビナー研修や外部研修を毎月実施。積極的に参加を推進。また希望する研修を自発的に受講するシステムも構築。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	7		半年に1度は事業所内相談を実施し、支援の方向を保護者と確認している	アセスメントの分析をもっと深く行い個別支援計画に反映する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	6	2	半年に1度のモニタリングの際、諸活動における適応状況を確認して行っている	今後アセスメントツールの使用を検討する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	1	低学年と高学年に分けてグループ毎で話し合い決定している	

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	11	1	1	事前に月案、週案を立ててなるべく多様な活動ができるよう心掛けている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	5	1	事前に月案、週案を立ててなるべく計画的に活動を行う	目的を持った活動を行うようにする
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	3	低学年と高学年に分けて行う活動と全体で行う活動と分けて計画をしている	更にグループの中でもそれぞれの特性に合わせた内容にする
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	1		支援前にグループ単位でその日の流れや活動の打合わせを行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	7	2	業務支援ソフトを活用し共有している	業務ソフトを使いこなせるようにする
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	5		業務支援ソフトを活用し共有している	業務ソフトを使いこなせるようにする
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	2	1	ケース会議を随時行い計画の見直しを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	6			職員間で話し合いガイドラインを意識した活動内容にしていく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	6		一職員5～8名程度の担当を持ち専門的に支援計画を立てている	担当で事前にまとめて配布しケース会議時に意見をだしてもらいようにする
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	1	2	ダブルチェックを行うことでミスを減らしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	8	1	受け入れる体制が整っていない	必要な場合は適宜検討する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	10	1	親からの情報提供を受けているのみで事業者との情報共有はうけていない	新規利用者に対しては積極的に情報共有に努め支援の統一性を意識する
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	8	1	要求された場合にのみ提供はしている	個別支援計画だけではなく、本人の得意なところや苦手なところについてまとめた資料を作成し提供できる準備をすすめる
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	6	2	外部の児童発達施設や放デイへ見学や意見交換を行っている	職員の交換研修や定期的に意見交換をおこなう

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	9	コロナ禍で多くはできないが、近所のコンビニへ買い物体験などは行っている	コロナが落ち着いたら再開を検討
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	5	6		管理者会議で情報の共有を行っているので、議事録を職員間で回覧する等して共有する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	3		連絡帳や送迎時に保護者へ様子をお伝えしている 定期的に面談も行い、支援内容の共有を行っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	10	2		ペアレントとレーニングを実施する為の職員教育を行っていく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	8	1	契約時や変更が生じた時には保護者へ説明を行っている	契約時に全ての項目の読み合わせを行っている事を周知する
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	6	1	相談事についての悩みアンケートを実施し、対応している	ペアレントトレーニングを実施予定
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	5		保護者会時に少ない時間だが行っている	保護者会以外にも交流会などを企画する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	4		苦情対応マニュアルを作成している	契約時には行っているが保護者へ苦情対応の説明を再度行う
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	3		みずいる便りを毎月発行	インスタグラムを開設して発信する
	35	個人情報に十分注意している	13			個人情報は徹底して管理しており、外部資料は伏字を行い、書類は全てシュレッターをしている。また書庫は毎日施錠している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	1		毎日の連絡帳でやりとりや必要に応じて送迎時にも話している。またこどもには絵カードを使用している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	8	1		地域交流の担当を定め計画を進める
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	7		マニュアルを一冊のホルダーにして配布 感染症情報などは掲示して周知	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13			毎月防災訓練を行い。年一回緊急時に対する引渡し訓練も行っている	

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	1		ヒヤリハットや虐待防止委員会を作り研修等を定期的に行い意識を高めている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	4		重要事項説明書に記載。個別に必要な場合は支援計画に含めている	非常勤への周知に努める
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	5	1	主治医の診断書を頂き個別対応している	嘱託医による勉強会を行っている。 食べる前にダブルチェックを必ず行う
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	2		毎月職員会議でヒヤリハット検証を行っている。また業務ソフトを使用して共有をしている	